

令和 6 年 8 月 9 日

会員 各位

一般社団法人 奈良県警備業協会

重大労災事故事例 (No. 9)

(被災区分)

死亡・重傷

(被災者の属する企業)

所在都道府県	従業員数
長野県	110名

(被災者)

No.	性別	年齢	経験年数	警備業関係取得資格	
1	男	65	8ヶ月	なし	
2	男	59	8ヶ月	なし	

(被災状況)

事故発生日時・天候	令和 6 年 7 月 23 日 (月) 午前 6 時 25 分頃 天候 晴
事故発生場所 (国・県道等の別)	長野県岡谷市 国道20号線
当事者	①被災警備員1 ②被災警備員2 ③乗用車(20代男性運転)
事故の概要	<p>①は、②が運転する軽貨物車の助手席に乗車し、工事現場に向かっていたところ、センターラインを大きくはみ出して進行してきた③と正面衝突したもの。</p> <p>①②ともに、意識不明の状態に救急搬送され、①は頭部強打による脳挫傷により死亡、②は複数箇所骨折(大腿骨、肋骨、脊椎)および内臓損傷の可能性もある重傷により、面会謝絶の状態(8/7時点)となっている。</p> <p>①②が乗車した車両は緩い左カーブの上り、③は緩い右カーブの下りの追い越し車線を走行中であり、何らかの理由でセンターラインをはみ出したものであるが、原因は捜査中である。</p>
現場略図	

<p>教訓事項</p>	<p>1 通勤時間帯等交通の混雑状況、勾配、カーブの有無などから、交通事故を誘発しやすい道路環境を念頭に防衛運転に徹し、危険が予測される場合には、別コースの選択や出発時間の変更など、具体的な危険回避の手段を選ぶ。 2 乗車時は、必ずシートベルトを正しく装着し、安全措置を講ずる。</p>
<p>今後の対策</p>	<p>1 本事故および教訓事項を関係者に周知するとともに、道路には様々な危険があることを認識させる。 2 同時時間帯における交通状況等を検証して事故原因を解明し、出発時間のやコースの変更など、具体策な事故防止対策を図る。</p>
<p>備考</p>	<p>③の運転手は、同日、業務上過失致死傷罪で逮捕、勾留されており、現在、事故の原因を捜査中である。</p>

※ 非常に痛ましい事件事例です。一見して、防ぎようのない事故と思われる
ところではありますが、事例研究課題として取り入れるなどして、同種事案
への注意喚起とそれぞれの立場からの解決策等を考える資料としてご活用下
さい。